

1 授業改善の計画

「主体性を育む音楽(歌唱)の実現」を目指して授業改善に取り組む。

【教科名 音楽】

単元名 歌唱 題材名 夏の思い出	単元期間 8月30日(木)～9月26日(木) 単元時間 8時間	学習形態 2学級(16名)
---------------------	---------------------------------------	---------------

2 授業改善の方法

(1) 主体的に活動できるようなグルーピングの工夫

音楽科という教科の特性は、「好き」と感じている生徒と「苦手」と感じている生徒がいると考える。初回の授業でアンケートを取ったところ、「好き」と答える生徒が8割程度と多かったものの、分野に分けて尋ねていくと「歌は好き」「楽器演奏は苦手」などと回答する生徒が多数見られた。そこで、私が担当する1学年では「苦手でもまずはやってみる」と伝え、生徒が自ら主体的に取り組むことができるような音楽科の授業実践に取り組んでいる。

歌唱の学習では、メロディの音取りを行った後に伴奏に合わせて歌うことが多い。歌うことに慣れてからは、楽譜に記されている強弱記号に合わせ、表現を指導していく。歌うことが好きな生徒は、歌いながら強弱を付けることで作曲者の意図や曲の物語を想像しながら歌う一方で、苦手な生徒は歌詞の通りに歌うことが精一杯で表現を付けることが難しかったり、表現を意識するあまり歌うことを忘れてしまったりする生徒がいる。また、人前で歌うことに抵抗感を抱える生徒がいることも事実である。私が担当する1学年では、小学5年生の終わり頃に新型コロナウイルスが発生し、合唱の楽しさを知り始める小学6年生では感染防止対策から合唱を中止せざるを得ない状況が起こったため、合唱の経験が不足している生徒も多く見られている。それでも、以前の歌唱の学習で「今は歌詞のとおりにならう」「〇〇の歌詞は大きな声で歌う」といった具体的な指示があると意欲的に取り組む生徒が増えてきたため、歌唱「夏の思い出」の学習ではいくつかの歌唱グループを用意し、自分でグループを選択して活動できるように工夫した。

(2) 新たな準備をせずとも活動できる環境の整備

歌唱は道具や楽器の準備が不要で、「声が楽器」のため取り組みやすいと思われる一方、人前で声を出すことの抵抗感がある生徒にとっては苦手と感じてしまいがちである。そのため、「夏の思い出」の授業を通して獲得を目指す知識・技能を明示したグループ(歌詞のとおりにならうグループ、表現の一部分を取り入れて歌うグループ、楽譜やオリジナルの表現を取り入れて歌うグループ)に限定することで、難しさを極力感じないような環境を設定した。

(3) 自分の考えなどを広げたり深めたりする場面の設定

学習を進める上で、「自分の考える表現や感じたことをグループみんなに共有する」「友だちの意見を否定しない」というルールを設定した。また、オリジナルの表現を取り入れるグループにおいてはより良い音楽表現となるような視点で考えるよう、繰り返し伝えた。基本的には自分たちで考えるが、困ったときに教師に相談しても答えとなるようなことは伝えず、自分たちの思いを込めた音楽表現ができあがるようにTTTと連携した。

3 授業実践

単元計画、指導(略)案 参照

4 成果と課題

(1) 主体的に運動を行えるようなグルーピングの工夫

○指導略案①～⑩、参照

成果

- ・教師が歌唱能力からグルーピングすると多くの工夫を必要とするグループに所属することになっていたであろう生徒が、難易度のソフトなグループを選択した場合であっても周りの生徒の能力に応じて活動している場面が見られた。また、逆に難易度が高いグループに挑戦してみようという生徒も多く見られた。このようなことから、自分でグループを選ぶという活動は、主体的に歌唱に取り組むために有効であったと考える。

課題

- ・仲の良い友達と一緒にグループになりたいという思いが優先してしまい、実力に合っていないグルーピングとなり、充実感を得られていない生徒がいた。

(2) 新たな道具をせずとも活動できる環境の整備

成果

- ・目指す知識・技能を明示したグループを3つ設定したことで、高みを目指すグループでは歌い方に工夫を凝らしていた。歌い方が決まってからは、目標に向かって高め合おうと練習に取り組む姿が見られた。
- ・歌唱が苦手でも頑張るポイントを話し合い、そこだけはしっかり歌うと決めて練習を繰り返す場面があった。自信を持って歌えるようになりたいと努力する生徒がいた。

課題

- ・歌唱に抵抗のある生徒の中にはどうしても歌うことが難しく、歌詞を読み上げることに切り替えた生徒がいた。

(3) 自分の考えなどを広げたり深めたりする場面の設定

成果

- ・ルールにもあった「友だちの意見を否定しない」を意識し、丁寧な話し合いができていた。真逆の意見があった場合には自分の考えを教師と相談し、友だちへの伝え方を工夫する生徒もいた。どのグループも、「○○と思うからこのように歌いたい」などと言葉にすることで、共通の認識で歌唱に取り組む姿が見られた。
- ・他の教科でも一緒に学習を行う集団であることもあり、少しずつ互いの理解が深まりつつある状況であった。雰囲気良くコミュニケーションを取っている様子が多く見られた。

課題

- ・活発な話し合いになったため、練習時間が足りなくなるグループが出てきた。
- ・練習しても次の時間には前時の取り組みを忘れてしまう生徒もいた。

(4) 主体性を育む音楽（歌唱）の実現

成果

- ・目標がはっきりと明示されている所属グループを自分で選択する活動は、自己選択の積み重ねになるため、責任感を培うという視点からも有意義であると感じた。
- ・やらされている学習から、自分で選んで行う学習に変化してきている。

課題

- ・個人間の歌唱能力の差によって、楽しめる生徒とそうではない生徒が生まれている可能性がある。

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。
内容	A 表現（歌唱 器楽 創作 身体表現） B 鑑賞
教科等横断的な視点	A～表現活動や鑑賞において、感じたこと(感想)や成果、課題などを言葉にすることにより、言語能力を高めます。 B～音楽を多面的に捉えられるような教材の提供をし、その教材（情報）から知識を得る機会を重ねることで活用能力を向上させます。 C～自分の得意、不得意を理解し、自分の力を見極めて演奏に取り組む力を身に付けます。 D～音楽が生活に寄り添う経験を通し、その結果もたらされる充実感から日常を切り開いていく力を身に付けます。

A：言語能力 B：情報活用能力 C：問題解決能力 D：現代的な諸課題に対応して求められる力

【前期】

時期	主に身に付ける力 (何ができるようになるか)	学習の題材 (何を学ぶか)	主な学習の方法 (どのように学ぶか)
4月	・1年間の学習内容を理解する力 ・ルールやマナーを理解する力	オリエンテーション	・学習の計画を知り、見通しをもちます。 ・学習のルールやマナーを理解します。
4～5月	・曲想と、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する力 ・歌唱表現についての知識や技能を理解する力（呼吸や発音など）	B 鑑賞（A 表現） 校歌	・範唱を聴いて旋律や伴奏を覚え、音楽を形作っている要素や表現の仕方について学習します。 ・歌唱に合った母音、子音、濁音、鼻濁音などの発音について学びます。
5～6月	・音符や休符の名前、音価を理解し、楽譜を読む力 ・身体を楽器にして、リズムで表現する技能	A 表現 (創作) (身体表現) 4分の4拍子	・音楽に関する記号や音符の読み方や書き方、音符の長さやリズム、4拍子を理解します。 ・簡単なリズム譜でボディパーカッションを行います。
6～7月	・音楽に合わせて楽譜を追う技能	A 表現（器楽） ハンドベル	・一人1音ハンドベルを担当し、全員で曲を演奏します。
7～9月	・西洋音楽の歴史、音楽の特徴を知り、楽曲を聴き分ける技能	B 鑑賞 西洋音楽の歴史①	・西洋音楽の歴史について、時代区分や主な作曲家について学びます。
6～7月	・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、楽譜に記された記号を表現する技能	A 表現（歌唱）	・響きのある声で歌います。・歌詞を味わって歌います。 ・歌詞から情景を思い浮かべ、考えを交流します。

【後期】

10～11月	・音符や休符を選択したり組み合わせたりして、リズムを創作する技能 ・楽譜を読む力 ・楽譜を見ながら簡単なリズムを表現する技能	A 表現 (創作) (身体表現)	・音楽に関する記号や音符の読み方や書き方、音符の長さやリズム、4拍子を理解します。 ・簡単なリズム譜をボディーパーカッションで表現します。 ・簡単なリズム譜の創作を行い、それをを用いてボディーパーカッションを行います。
11～1月	・西洋音楽の歴史、音楽の特徴を知り、楽曲を聴き分ける技能	B 鑑賞 西洋音楽の歴史②	・西洋音楽の歴史について、時代区分や主な作曲家について学びます。
11月	・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、表現を工夫して歌う技能	A 表現 (歌唱) 合唱	・曲の雰囲気を感じ取りながら、メロディーを歌います。 ・パートの掛け合いやハーモニーを感じ、パートの役割を理解して合唱を行います。
12月	・曲の背景となる文化、歴史や他の芸術と関連づけて鑑賞する能力 ・楽譜を見ながら、簡単な旋律を演奏する技能	B 鑑賞 世界の音楽 A 表現 (器楽) ハンドベル、キーボード	・季節に合ったクラシック (クリスマス音楽) を中心に、知識を得たり生かしたりしながら、感想を言葉で表現します。 ・ハンドベルやキーボードで合奏します。
2～3月	・伴奏や周りの歌声に合わせて歌う技能 ・歌う楽しさや喜びを知り、ハーモニーを感じる力 ・歌詞の内容や音楽記号、曲想を歌声で表現する技能	A 表現 (歌唱) 二部合唱 国歌「君が代」	・行事 (卒業式) を目標とし、合唱します。(学年ごと、または2年生と) ・担当するパートを正しい音程で歌えるよう学習します。 ・音楽記号の意味とその表現方法を学習します。
3月	・音やリズムを組み合わせる音楽を作り出す技能	A 表現 創作 (作曲)	・設定した条件に基づいて、音やリズムを選んで曲作りをします。

通年	・音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて理解する。	楽典	・表現、鑑賞の技能を高めるために必要な楽典を学びます。
----	--	----	---

評価の観点	①知識・技能	表現のために必要な知識・技能が身についている。 楽曲を理解するために必要な知識が身についている。
	②思考力・判断力・表現力	より良い表現、鑑賞のために必要な思考・判断・表現ができている。
	③主体的に学習に取り組む態度	題材に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に学習活動に取り組んでいる。

単元名 A 表現（歌唱）

主に身につける力	・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、楽譜に記された記号を表現する技能
主な学習方法	・響きのある声で歌います。・歌詞を味わって歌います。 ・歌詞から情景を思い浮かべ、考えを交流します。

単元の目標	・メロディーや歌詞を覚え、適切に歌うことができる。 ・歌詞に込められた意味を考え、意識することができる。 ・メロディーや歌詞を覚え、自分なりに歌唱で表現しようとする。	（知・技） （思・判・表） （主体的）
実施期間	令和6年8月30日（金）～9月20日（金）	
題材名と時数	・歌唱「夏の思い出」を覚えよう ・楽譜に記された記号に合わせて歌唱しよう ・歌詞から情景などを思い浮かべ、どのように歌うと良いか考え意見を交流しよう	

【評価規準】

知・技	表現のために必要な知識・技能が身についている。 楽曲を理解するために必要な知識が身についている。
思・判・表	より良い表現、鑑賞のために必要な思考・判断・表現ができている。
主体的	題材に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に学習活動に取り組んでいる。

（評価基準：A～Dの4段階 → 個別の指導計画と同様）

生徒名	取組の様子	知・技	思・判・表	主体的
A	・歌詞やグループで話し合った表現方法を覚え、おおむね正しい音程やリズムで歌うことができた。	A	A	A
B	・歌詞を見て、聞いている人に聞こえる声で歌うことができた。	A	A	B
C	・歌詞から情景を思い浮かべ、グループの友達に歌い方の提案ができた。	A	A	A
D	・歌詞を覚え、友達や教師と相談して決めた表現方法を意識して歌うことができた。	B	A	A
E	・歌詞を覚え、友達や教師と相談して決めた表現方法を意識して歌った。自分の苦手なリズムを気を付けて歌った。	A	A	A
F	・歌詞やグループで話し合った表現方法を覚え、音程やリズムを正しく歌うことができた。	A	A	A
G	・歌詞やグループで話し合った表現方法を覚え、音程が外れないよう気をつけながら歌うことができた。	A	A	A
H	・歌詞を見て、友達や教師と相談して決めた表現方法を意識して歌うことができた。	A	A	A

I	・歌詞を見て、おおむね正しいリズムで歌うことができた。	A	A	A
J	・歌詞を見て、相手に聞こえる声で歌うことができた。	A	A	A
K	・歌詞を見ながら、歌詞を読み上げることができた。	B	B	B
L	・歌詞を見て、教師や友達と決めた表現方法をおおむね意識して歌うことができた。	A	A	A
M	・歌詞を見て、教師や友達と決めた表現方法をおおむね意識して歌うことができた。音程やリズムが正しかった。	A	A	A
N	・歌詞を見て、大きな声で歌うことができた。	A	A	A

令和6年度 音楽学習指導案（略案）

題材名	歌唱Ⅱ～日本歌曲の表現～1	目 標	・学習のねらいと流れを理解する。 ・歌唱に必要な身体の準備ができる。（体ほぐし、発声他） ・取り組む楽曲や今後の学習の流れについて知る。
日時	8/30		
場所	音楽室		
指導者	阿部、〇〇 t		
学習集団	4、5組(16名)		
時間	学習内容・生徒の活動	教師の活動・指導・支援など	教材・教具、その他
0	1 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。 ・本時の学習内容を知る。	T1：号令の指示	T V、P C ・教科書
5	2 オリエンテーション ・学習のねらい、流れ、注意事項を知る。	・学習内容を説明する。 ・P Pに沿って、学習のねらい、流れを説明する。	
10	3 曲を知る。 ・模範唱を聴く。 ・楽曲について知る。	・楽曲について説明する。	
15	4 歌唱 (1) 準備体操 ・MTと同じ動きをして身体をほぐす。 (2) 発声 ・MTの後について発声練習をする。 (3) 歌唱 ・教師の後について歌う。 ・通して歌う。	首、肩、上体の順番にストレッチの手本を示す 実態や授業の進度に応じて行う。 ・T Vに歌詞を表示する。	
40	5 まとめ ・振り返りを記入する。 ・次時の予告 6 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。	伴奏、P P操作をお願いします。 ・挙手により個々の達成度を確認する。 T1：号令の指示	
			・ワークシート

令和6年度 音楽学習指導案（略案）

題材名	歌唱Ⅱ～日本歌曲の表現～2	目 標	・ 楽曲の歴史を知る。 ・ 学習を進めるグループについて知る。
日時	9/2（4, 5）		
場所	音楽室		
指導者	阿部、〇〇 t		
学習集団	4、5組（16名）		
時間	学習内容・生徒の活動	教師の活動・指導・支援など	教材・教具、その他
0	1 あいさつ ・ 指名された生徒は号令をかける。 ・ 本時の学習内容とねらいを知る。	T1：号令の指示 ・ 学習内容とねらいを説明する。	TV、PC ・ 楽譜
5	2 歌唱 ・ 教師の後について歌う。 ・ 確認が必要な箇所を抽出して歌う。	TVに歌詞を表示する。 ST: PP操作をお願いします。	
10	・ 通して歌う。		
20	3 楽曲の歴史について ・ 教科書やPPで確認し、プリントをまとめる。	・ PPに記入方法を提示し、進度をそろえる。 ・ 自分が作曲者ならどのような歌い方が考えられるか問う。	
	4 グループについて ・ 次回以降のグループ学習の内容について知る。 ・ 自分が取り組みたいグループを選択する。	・ 活動内容やグループの目標（目指す知識や技能について明示）をPPで説明する。 ・ 自分に合ったグループが選択できるよう、言葉掛けを行う。	
40	5 まとめ ・ 曲の情景を思い浮かべながら歌う。 ・ 振り返りを記入する。 ・ 次時の予告		
45	6 あいさつ ・ 指名された生徒は号令をかける。	MT：号令の指示	

題材名	歌唱Ⅱ～日本歌曲の表現～	3	4	5	目 標	・グループに分かれて話し合い活動を行う。 ・自分の思いや考えを友達に伝える。	
日時	9/6, 9, 12 (4, 5)						
場所	音楽室						
指導者	阿部、〇〇 t						
学習集団	4、5組(16名)						
時間	学習内容・生徒の活動				教師の活動・指導・支援など		教材・教具、その他
0	1 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。 ・本時の学習内容とねらいを知る。				T1：号令の指示 ・学習内容とねらいを説明する。		T V、P C ・楽譜
5	2 歌唱 ・曲の歴史について確認する。3のみ ・通して歌う。				P Pに歴史や歌詞を表示する。 ST:P P操作をお願いします。		
10	・確認が必要な箇所を抽出して歌う。						
20	3 グループ活動について ・自分がどのグループで活動するか知る。3のみ ・グループで意見を出し合う。 ・取り入れたい意見をプリントに記入する。				・P Pにグループを提示。 ・自分が作曲者ならどのような歌い方が考え、発表するよう促す。 ・活発な話し合いができるよう、適宜支援する。 ・話し合いを進める上での助言は、答えを導かないよう注意する。		
40	4 まとめ ・振り返りを記入する。 ・次時の予告						
45	6 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。				MT：号令の指示		

題材名	歌唱Ⅱ～日本歌曲の表現～6 7	目 標	・グループで話し合った表現方法で歌う。 ・さらに良くなるためにできることを話し合う。
日時	9/16, 19 (4, 5)		
場所	音楽室		
指導者	阿部、〇〇 t		
学習集団	4、5組(16名)		
時間	学習内容・生徒の活動	教師の活動・指導・支援など	教材・教具、その他
0	1 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。 ・本時の学習内容とねらいを知る。	T1：号令の指示 ・学習内容とねらいを説明する。	T V、P C 楽譜
5	2 歌唱 ・通して歌う。 ・確認が必要な箇所を抽出して歌う。	P Pに歴史や歌詞を表示する。 ST:P P操作をお願いします。	
10	3 グループ活動について ・グループで話し合った表現方法で歌う。	・音楽室2に各グループごと移動して歌う。	
20	・改善点が見つかった場合は、再度話し合いとする。	・改善点を出した生徒の意見を否定せず、高みを目指すためにできることを話し合うよう促す。 ・話し合いを進める上での助言は、答えを導かないよう注意する。	
40	4 まとめ ・振り返りを記入する。 ・次時の予告		
45	5 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。	MT：号令の指示	

題材名	歌唱Ⅱ～日本歌曲の表現～8 発表	目 標	・グループで考えた表現を披露する。 ・他のグループの良かった点を考える。
日時	9/26 (4, 5 組 16 名)		
時間	学習内容・生徒の活動	教師の活動・指導・支援など	教材・教具、その他
0	1 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。 ・本時の流れとねらいを知る。	T1：号令の指示 ・学習の流れとねらいを説明する。	T V、P C
5	2 歌唱 (1) 準備体操 (2) 発声 ・MTの後について発声練習をする。	首、肩、上体の順番にストレッチの手本を示す ST:伴奏、P P操作をお願いします。	
10	(3) 歌唱 ・グループに分かれて通して歌う。		
15	3 歌の発表 ・グループごと発表を行う。 ・振り返りシートの記入。	・話し合った内容や、意識して歌うことについて教師が質問する。 ・聴いた感想や発表した感想を振り返りシートに記入する。	
40	4 まとめ ・振り返りの記入 ・次時の予告	・感想シートを回収する。	
45	5 あいさつ ・指名された生徒は号令をかける。	MT：号令の指示	

令和6年度 外国語科 第1学年 学習指導案（略案）

日時		令和6年10月23日（水）5時間目		場所	北海道伊達高等養護学校 視聴覚室
生徒		木工科1年（男子8名） 農業科1年（男子5名、女子2名）		指導者	MT：牧野 高志 ST：熊谷 一寛
単元名		外国語1年 オリエンテーション		題材名	（1）外国語の授業について知ろう。 （2）英語で自己紹介をしよう。
本時の授業の視点	本時目標	1 外国語学習の意味や授業のルールについて考え、学習への意欲を高めることができる。 【学びに向かう力】 2 英語での自己紹介や数字の表現を知り、発音することができる。【知識・技能】			
	評価基準	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
		S:教師が提示したフレーズや自分で調べた英単語を覚え、英語で自己紹介することができる。 A:教師が提示したフレーズを理解し、ワークシートを参考に英語で自己紹介することができる。 B:ワークシートの一部又は全部を読むことで、英語で自己紹介することができる。 C:教師の手本の後に続いて発音することで、英語で自己紹介することができる。		S:外国語学習の意味や授業のルールについて自ら発表したり、仲間の発表を傾聴し気付きを得たりすることができる。 A:外国語学習の意味や授業のルールについて教師の指名を受けて発表したり、仲間の意見を傾聴したりすることができる。 B:外国語学習の意味や授業のルールについて、仲間の意見を聞いたり、うなずきや相づちで自分の思いを表現したりすることができる。 C:外国語学習の意味や授業のルールについて、教師の支援を受けて仲間の話を聞いたり、何らかの反応を返したりすることができる。	

○本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点	評価について	教材・教具
～13:10	1 視聴覚室の座席に座る。	1 必要に応じて、言葉掛けて座席を指定する。＜MT、ST＞ ※黒板の前に立ち、授業を進める。＜MT＞ ※支援が必要な生徒を中心に、机間巡視をする。＜ST＞		1 パソコン、プロジェクター
13:10～導入	2 英語で始めの挨拶をする。教師の後に続いて発音する。 3 ワークシートを受け取り、日本語で日付と名前を書く。	2 “Hello, everyone. Hello, Mr.…”と、挨拶の仕方を示し、真似て発音できるようにする。＜MT＞ 3 ワークシートを配付して、日付と名前を書くように指示する。＜MT＞		3 ワークシート
13:15～展開Ⅰ	4 教師の説明を聞き、その場で立って英語で自己紹介をする。必要に応じて、ワークシートに言葉を書く。 仲間の発表を聞く。	4 スライド資料を投影して、英語の自己紹介の5つの項目や発音の仕方を提示する。その後、トランプを使って自己紹介の順番を指定し、発表を進行する。＜MT＞	4 【知識・技能】	4 トランプ

	5 ワークシートに、「英語を学ぶ意味」や「ルール」について、自分の意見や模範解答を書く。	5 スライド資料を投影して、「英語を学ぶ意味」や「ルール」について、日本語で説明する。＜MT＞	5 【学びに向かう力】	
13:35～ 展開 2	6 言語活動「BINGO」に取り組む。教師の後に続いて、数字を英語で発音する。 算用数字又は英単語でワークシートの 25 のます目に順不同で記入する。 7 教師が提示した「数字カード」を見て発音し、そのカードの数字と該当するます目に丸を付ける。 8 「リーチ」や「ビンゴ」になった生徒は、その場で教師や他の生徒に知らせる。	6 「1」から「25」までの数字と発音の読み方を、スライド資料を投影しながら英語で発音する。＜MT＞ その後、ワークシートの記入状況をチェックする。 ＜MT、ST＞ 7 「数字カード」を使って、「BINGO」の数字を提示する。同時に、数字を英語で発音する。＜MT＞ 机間巡視し、丸が付いているかを確認する。＜ST＞ 8 活動終了時刻 13:50 まで、活動を続ける。＜MT＞		6 数字カード
13:50～ 終末	9 本時の学習課題を振り返り、「外国語学習への意欲（頑張りたいことや学びたいこと）や、「英語の自己紹介の表現や数字を発音したこと」について、ワークシートに感想を日本語で書く。 10 ワークシートに書いた感想を発表する。	9 本時の学習課題を振り返り、本時のまとめを行う。ワークシートに感想を書くように指示する。＜MT＞ 机間巡視し、誤字脱字などをチェックする。＜MT、ST＞ 10 発表者を呼び掛ける。必要に応じて、生徒を指名する。 ＜MT＞	9、10 【学びに向かう力】	
～14:00	11 英語で終わりの挨拶をする。教師の後に続いて発音する。	11 “Good-bye, everyone. Good-bye, Mr.…”と、挨拶の仕方を示して、真似て発音できるようにする。＜MT＞		

3学年 音楽科 学習指導略案

単元名	歌唱	題材名	合唱「あなたへ」
日 時	令和6年10月23日（水）6校時	場 所	音楽室、視聴覚室
生 徒	3学年 26名		
指導者	高倉（MT）、三浦 t、菊地 t、佐藤卓 t、高井 t、尾崎 t（ST）		
目 標	・歌詞と音程を覚えて歌うことができる。 ・自分が担当するパートを理解することができる。		
時 間	学習内容	指導者の動き・留意点	教材・教具
14:10	○視聴覚室に集合 ○挨拶をする ○本日の学習内容を知る ・パート練習と合唱練習	・挨拶する生徒を指名する。	
14:15 14:40	○合唱 「あなたへ」について ・アンケートを通して前時の振り返りをする。 ・パートに分かれて練習をする。 音楽室…男声 視聴覚室…女声 ・視聴覚室に集合する。 全体で「あなたへ」を歌う。 ・今回の活動について振り返りを行う。	・Forms の結果をスライドに映す。 ・合唱で感じたことを踏まえて練習をすることを伝える。 ・女声…三浦 t、尾崎 t、高井 t 男声…菊地 t、佐藤卓 t ・Form のアンケートを配布する。 ※今回のアンケートで試しに ①「歌の先生になったつもりでアドバイスをする」という項目を作っています。一応、批判はNGとなっていますが…。 ①が難しい生徒には、②「歌っていて困っていること」という項目を用意しています。選んで書いてもらう予定です。	・TV（音楽室） ・PC ・歌詞プリント ・iPad
14:55	○まとめ ・次時の確認 次回は「合唱のパート練習の続きと合唱練習」を行うことを知る。 ・挨拶をする。	・次回でパート練習は最後であること、できれば歌詞を覚えることを伝える。	

10月23日(水)

本日の音楽

音楽発表（合唱）の練習

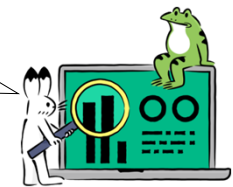
1

10月23日(水)

音楽発表（合唱）の練習

前回の振り返り

振り返りアンケート
ありがとうございました。



2

10月23日(水)

音楽発表（合唱）の練習

前回の振り返り

ちょっとだけ紹介



3

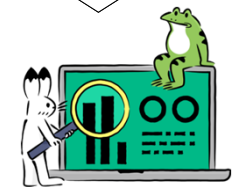
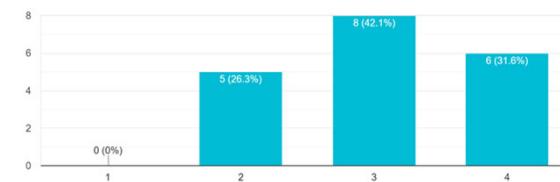
10月23日(水)

音楽発表（合唱）の練習

前回の振り返り

1 授業の取り組み方はどうでしたか？

今回

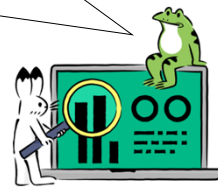
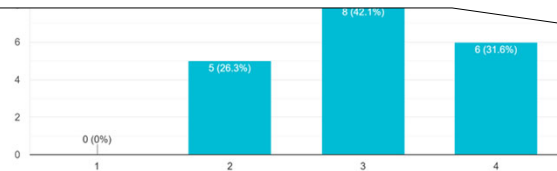


4

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

実は…

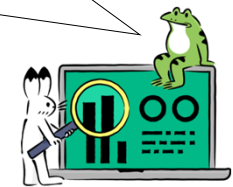
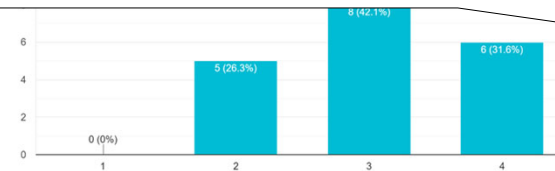
2を選んだ人が多くなっています。



5

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

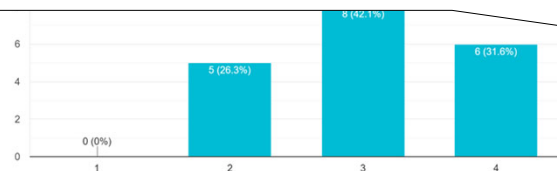
選んだ理由に、「周りが速くなっている」という記述がいくつかありました。



6

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

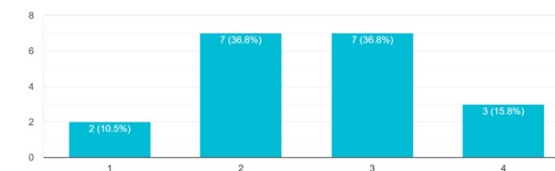
この項目は「自分の取り組み方はどうだったか？」ということで選んで欲しいです…



7

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

3 合唱はどうでしたか？

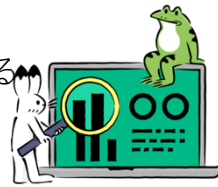


8

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

5 次回（パート練習と合唱練習）の目標

歌詞なしでも歌えるようにする
歌詞を覚えてしっかり歌えるようにする
歌詞を暗記する
歌詞を見る声大きくしない



9

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

5 次回（パート練習と合唱練習）の目標

大きな声でうたう
歌詞は少しずつ覚えてきたから、リズムに気を
けて取り組む。
リズム感を取れるよう頑張ります。
リズムを取れるように頑張ります



10

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

5 次回（パート練習と合唱練習）の目標

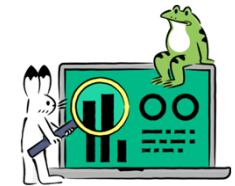
音程取れるように頑張ります
音程を合わせる
音程を揃えて、速くなりすぎないように音を聞き取
る。
早さをずらさないで歌います。

11

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

5 次回（パート練習と合唱練習）の目標

つられないようにする
合わせて歌う。
合わせるようにする 🙄



12

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
前回の振り返り

5 次回（パート練習と合唱練習）の目標

えがお
自分が中心となってひっばっていけるように頑張
る
とにかく頑張る！ d(^o^
がんばれ

13

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」

23日(水)
25日(金)
28日(月)

この日までには
歌詞や楽譜を見なくても
歌えるように…



残り3回…

14

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」



叫ばなくていいですよ。
のどが痛くなっちゃうので…

パート練習のあと
みんなで歌います！

15

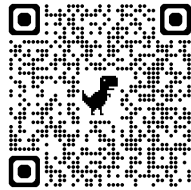
10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」



疲れていませんか？
不安な人は
マスクをしたまま
歌いましょう。

16

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
本日のまとめ



授業の振り返りアンケートをします。



17

10月23日(水)
音楽発表（合唱）の練習
次回の予定

次回から合唱をメインに練習をします。
できる人は表現の工夫を考えてみましょう。



18

学校祭 合唱について

○練習日・内容

10/3（木）⑥	・歌詞を読む ・曲のイメージを共有する ・パートの確認をする ・共通部分の音取りをする
10/9（水）⑥	・パート練習① 1番のところ中心
10/22（火）①	・パート練習② 2番のところ中心 ・合唱練習（できるところまで）
10/23（水）⑥	・パート練習③ 最後まで ・合唱練習 最後までを通し
10/25（金）②	・合唱練習 暗譜で歌う練習
10/28（月）①	・合唱練習 まとめ ・（できたら）強弱の確認

※工被農のみ…8/21（木）、22（金）

木食のみ…10/11（金）

通常の授業（音楽）から特別日課（合同音楽）の間が少し空いています。できる限り学級や個人で練習するよう、ご協力お願いします。

パート練習は音楽室と明心館で行います。音楽担当の先生方はそれぞれのパートで指導をお願いします（男声が少ないので、音楽以外の先生にも協力してもらえたら…）。

※高倉はどちらのパートも見れる（または指揮の指導ができる）ように、フリーで動きたいと思います。

○「あなたへ」について

多分おそらく、「高くて声が出ない！！」と嘆く生徒が出てくると思います。

基本、無理に出さないようにお願いします（喉を痛めてしまうので）。可能なところであれば、「1 オクターブ下げて歌う」という方法があるので、高倉に相談するように伝えてもらえたらと思います。

合唱④ 授業の振り返りアンケート

* 必須の質問です

1。 名前 *

2。 今回の授業の取り組み方はどうでしたか？（自己評価） *

1つだけマークしてください。

1 2 3 4

悪い ☐ ☐ ☐ ☐ 良い

3。 その評価になった理由を書いてください。 *

4. ①、②のどちらか選んでください。

*

①自分が「歌の先生」になったつもりで、アドバイスを書いてください。

※「全然ダメ！」などの批判はNGです！「〇〇すると良くなるよ！」といったような「プラスのアドバイスを」。

②歌っていて困っていること、聞きたいことを書いてください。

※周りのことではなく、自分のことについて書きましょう。

5. 次回は合唱をメインに練習をします。
目標を書いてください。

*

※次回は「歌詞や楽譜を覚える」目標の日です。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

タイムスタンプ	名前	今回の授業の取り組み方はどうでしたか？（自己評価）	その評価になった理由を書いてください。	①、②のどちらか選んでください。①自分が「歌の先生」になったつもりで、アドバイスを書いて②次回は合唱をメインに練習をします。目標を書いてください。※次回が「歌詞や楽譜を覚える」目標	
2024/10/23 2:56:42 午後 GMT+9	A		3 わずかしいかった	早口になること	えがおでかしをおぼえること
2024/10/23 2:57:01 午後 GMT+9	B		3 前回よりマンになった（多分）	ないヨ	歌詞見なくても歌える自信持つ🐼
2024/10/23 2:57:18 午後 GMT+9	C		3 歌詞を少しミスった以外は大丈夫かなとおもいまして。	音をよく聞く	歌詞とリズムを完璧に取る
2024/10/23 2:57:28 午後 GMT+9	D		2 音程がずれていた	音程が速くなってしまうことがあるのですが、どのように歌ったら合わせて歌えますか	リズムや音程を合わせる
2024/10/23 2:57:32 午後 GMT+9	E		2 気持ちのコントロールができなかった。	自信持って歌うとよくなる。優しく歌えば綺麗な声が出る。	綺麗な声を出るように努力する。
2024/10/23 2:57:47 午後 GMT+9	F		4 大きな声で歌いました。	スマイル**です。	スマイル**です。
2024/10/23 2:57:53 午後 GMT+9	G		3 ちょっとつられてしまった	音程を聞いた方がいいと思う、みんなの声を聞いた方がいい	歌詞を見ないでリズムに合わせて綺麗に歌う
2024/10/23 2:57:57 午後 GMT+9	H		3 喉が痛いです ㏸	心の中でメトロノームを作ると良い ㏸	喉がやられない程度で声を出す
2024/10/23 2:58:09 午後 GMT+9	I		4 良いと思ったから	がんばれば俺も頑張る(ニヤニヤ)	惑わされないようによく音を聞いて頑張る
2024/10/23 2:58:23 午後 GMT+9	J		3 音程を揃えて歌うことができた。途中速くなってしまうこともあった。	周りの音聴いて歌ったら良くなると思います。最後の方声を高くするのが難しいです。	出来る範囲で声を高くする。
2024/10/23 2:58:42 午後 GMT+9	K		3 声の加減難しい	歌声「マーベラス」喉加減と歌聴く歌詞見る	女に釣られない
2024/10/23 2:58:51 午後 GMT+9	L		3 喉の調子が少し…(^;)	「しんじあえることのよろこび」の後の「を」と「と」が曖昧な方がおります :)	べ('ω')
2024/10/23 2:59:34 午後 GMT+9	M		4 音程が取れるようになったからです	音をよく聞いて歌うとよくなると思います	歌詞を覚えるように頑張ります
2024/10/23 3:00:32 午後 GMT+9	N		3 おおきなこえがだせた。	特になし	おおきなこえでうたう
2024/10/23 3:00:44 午後 GMT+9	O		3 歌詞なしで歌った時歌詞があいまいなところがあった	周りにつられそうになる	伴奏だけでもうまく歌えるようにする
2024/10/23 3:01:26 午後 GMT+9	P		2 音程が取れなかった	リズムを聞くといいと思う	歌詞をしっかり覚えて来ます
2024/10/23 3:12:30 午後 GMT+9	Q		3 前回より強弱や音に合わせることができました。	歌うテンポがずれていたと思いましたので次はもっと音に合わせながら歌うと良いと思いました。	声を大きく歌うように頑張ります。
2024/10/24 4:16:13 午後 GMT+9	R		4 集中して取り組んだ	お嬢から声を出した方がもっと良くなる！	歌詞や音程を覚える

知的障がい・高等部【美術】単元計画

単元名	レタリング			単元期間	令和6年11月18日(月)12月16日(月) 計5h		
単元設定の理由	生徒を取り巻く環境はSNSを媒体とした動画や広告など視覚的な情報が溢れており、そのほとんどには画像と共にデザインされた文字が含まれている。漫画やアニメ、ゲームなどのイラストに対する興味関心が高い生徒が多い一方で、例えば作品を表すロゴや書体に着目する生徒は少ない。 本単元で扱うレタリングは、そうした文字デザインに着目し、その特徴や構成ルールを理解し模倣することで、文字のデザインの基礎的な考え方を学習することを目指している。また、この活動を通じて、観察力や創造力を養い、自己表現の幅を広げるとともに、日常生活におけるデザインへの興味や感性を育むことをねらいとしている。						
単元目標 ※年計より					知 技	思判表	学びに向かう
	・明朝体やゴシック体などの基本書体の構造や特徴を理解し、提示された文字の書体が何か述べることができる。			○			
	・日常の中にある様々な書体の文字を見付けようとしている。				○	○	
	・他者の作品や自己の作品を鑑賞し、それぞれの違いやよさ、美しさを味わおうとしている。				○		
本単元で育成を目指す資質・能力	知 思学	・読む、書く、伝える力 ・自ら考え、行動する力 ・自分の良さや課題を受容する力 ・根気強く、安全に活動する力 ・選択、決断する力 ・互いに認め合う力 ・健康に生活する力 ・他者と考えを伝え合う力 ・より良く生きようとする力					
	時数	○学習内容 (指導内容)			(本時の目標)		
					(評価方法)		
日時 11月18日 (月)	1h	○オリエンテーション ・学習計画を知る。 ・レタリングの概要を知る。 ・生活の中にある文字を見つめ、用途や形の違いを知る。 ○レタリング ・「永」に含まれる点画から文字の構成要素を知る。 ・明朝体の特徴を知り、「永」をレタリングする。			(思) 日常の中にある看板やロゴの違いを見つけることができる。 (知) 見本を見ながら補助線などを引くことができる。 (知) 見本と同じように文字の骨を描くことができる。 (学) 提示された文字の書体が何か述べることができる。		
日時 11月25日 (月)	1h	○レタリング ・「永」の時に含まれる点画から文字の構成要素を確認する。 ・明朝体の特徴を知り、「永」をレタリング ・ゴシック体の特徴を知り、「永」をレタリングする。			(知) 描かれた線と平行な線を定規を使って描くことができる。 (知) 補助線などを頼りに見本と同じように文字を描くことができる。 (学) 書体による印象の違いを述べることができる。		
日時 12月2日 (月) ～12月9日 (月)	2h	○書体のデザイン ・明朝体やゴシック体の以外の書体を見ながら特徴や用途をまとめる。 ・前時の学習内容から「永」の文字から点や画などの構成要素を再度確認する。 ・共通のテーマを元に個人毎に割り当てられたアルファベットや数字をデザインする。			(知) テーマから連想する図形を選ぶことができる。 (知) 選んだ形と文字を組み合わせで文字をデザインすることができる。		
日時 12月16日 (月)	1h	○作品鑑賞 指定された、生徒が作った書体について観点に沿って感想を書き、発表する。			(思) 自分のデザインした文字について、特徴や工夫した点をワークシートにまとめることができる。		
計	5h						
単元の評価 (来年度へ向けて)	評価項目	適切 ○	要改善 △	記 述			
	目標						
	学習内容						
	時数						
	その他						